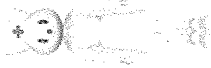


舞阪町健康福祉課 保健センター：フッ素洗口事業		
〒431-0211 静岡県浜名郡舞阪町舞阪 2688-349 (TEL) 053-596-1412、(FAX) 053-592-8879 (E-Mail) soufuku@town.maisakashizuoka.jp		
人口 11,687 人(出生数 100 人) 母子保健担当者:保健師、全保健師数 1 人(母子保健担当保健師数 2 人) 区分:市町村		
事業課題	■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ	
事業の背景	舞阪町では、むし歯予防のために歯科指導を実施してきたが、近隣市町と比較してみると罹患率が高く、一向に減少していかない状況であったため、昭和62年度よりフッ素洗口について歯科保健推進委員会を構成し、検討を始めた。結果、平成5年度より小学校・幼稚園で実施。平成6年より3保育園実施。 結果、学校歯科健康診断等に良い成果が現れている。	
提案者	その他(歯科保健担当者・舞阪町歯科医師会)	
事業のねらい・目標	幼児のうちからフッ素洗口をすることにより、永久歯のむし歯予防と地域歯科保健の向上を図る。 ■住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する	
数値目標	あり	
対象	幼児 学童	
実施期間	平成 5 年 4 月 ~ 平成 17 年 3 月 12 年計画	
実施内容	歯科医師の処方指示を得て、保育・教育施設において薬剤師がフッ素トリウム溶液を作成し、各クラスでフッ素洗口を行なう。 実施する園児・児童については、フッ素洗口についての説明資料及び希望書をつけて配布。希望制にして、実施しない園児・児童については、水によるうがいにて対応する。 ■マニュアル・ガイドラインの作成	
事業内容	協力機関	保育園 幼稚園 学校 その他(歯科医師会・薬剤師会)
	住民参画状況	なし
	従事者内訳	歯科医師 歯科衛生士 薬剤師 保育士 教員 養護教諭
	補助金・助成金	都道府県
事業の評価	学校歯科健康診断の結果から、DMFT指数(一人平均むし歯経験指数)についてみると、ベースラインの平成5年度に比べ、平成14年度ほどの学年も大幅な減少率が得られている。なかでも、園児期からフッ素洗口を実施している学年については大幅な減少がみられる。 ※小6(平成5年度4.3→平成14年度0.7)	

■数値目標を評価した	
今後の課題	小学生の永久歯においてはその効果が著明に現れている。(むし歯のない者が8割)しかし、一部ではあるが、多発傾向児(永久歯むし歯が9本以上の者・乳歯むし歯が5本以上の者)もいる。 その者に対するフオロ―も行なっていく。 また歯科領域のみに限定することなく、生活習慣をとおして、保健師・栄養士・関連施設との連携を持ち、継続して観察・指導していく。
キーワード	母子保健 栄養 運動 食生活 歯 *** コメント *** ここに注目！— 従来の事業の問題点を正しく受け止め、外部の有識者を交えた委員会を構成した上で、新たに事業を展開した点は非常に高く評価できる。また、集団全体での改善のみで充分とせず、より重大な問題を持つであろうと考えられるグループの存在を的確に把握していることは特筆に値する。 エビデンスは？— 具体的な数値目標が設定されており、既に多くの地域で効果が確立されている事業であることから、エビデンスに基づいた評価が実施可能である。(ST)



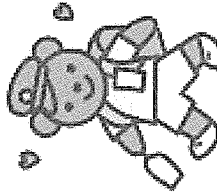
今後の課題	啓発活動にはなっているが、妊婦教室への参加者が少ないため事業評価がむづかしい。
キーワード	母子保健 栄養 運動 食生活 歯 ■妊娠中からの母子歯科保健の推進
**** コメント ****	ここに注目！— 従来の歯科保健事業とは全く異なる観点から参加者の意識に働きかけようとする点はユニークであり、非常に評価できる。最新の科学的知見を正しく取り入れ、地域住民にわかりやすい形で示し、住民一人一人が実施可能な形の具体的な対応策を示したことも重要である。 エビデンスは？— 数値目標による評価を行っているが、課題によっては数値目標による評価が困難となる理由について考察しており、事業の継続によってエビデンスの蓄積が期待できる。(ST)



<b>野上町保健福祉課：ミュータンス菌の母子感染予防</b>	
〒640-1121 和歌山県海草郡野上町下佐々1408-4 (TEL) 073-489-9960、(FAX) 073-489-8655 (E-Mail) shimohigashi-m@town.nokami.wakayama.jp (ホームページ) http://www.town.nokami.wakayama.jp/	
人口 8,186 人(出生数 40 人) 母子保健担当者:事務・保健師・栄養士、全保健師数 4 人(母子保健担当保健師数 2 人) 区分:市町村	
事業課題	■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ
事業の背景	妊産婦・乳児期からの虫歯予防啓発を行い、徐々に乳歯の虫歯は減少してきたが、より一層の改善(虫歯ゼロ)を目指すため、新しいテーマの事業を妊産婦の時から実施していく必要性を感じた。
提案者	その他(歯科保健推進委員会)
事業のねらい・目標	子どもの歯をう蝕から守るため、妊婦・乳児の保護者に対し「虫歯菌(ミュータンス菌)は感染する」「感染させている」「予防できる」という啓発を行い、母子感染を予防する。乳歯の虫歯予防。 ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める
数値目標	あり
対象	乳児 父親 母親 妊産婦 家族
実施期間	平成 14 年 12 月 ~ 平成 22 年 3 月 8 年計画
事業内容	①検査の目的を説明。 ②唾液と歯垢を採取し、専用容器に入れ、48時間培養する。 ③結果を個人通知する。 (培養したミュータンス菌・ミュータンス菌についてのパンフレット、母子感染予防の重要性を記入したパンフレットを同封) * デジカメで記録を残し、保存している。 ■既存事業の工夫
住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師 歯科衛生士 保育士 その他
補助金・助成金	なし
事業の評価	毎年度初めに、前年度の歯科健診結果(1歳6か月児健診、3歳児健診、保育所年長～年少の学年別)を集計し、経年的推移をグラフ化している。乳歯の虫歯予防が目標のため、評価は数値で行っている。 ■今後も継続する

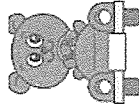
\*\*\*\* コメント \*\*\*\*

ここに注目！— 保育園に入園していない児は、保育園などの何らかの施設を対象とした保健事業から漏れることが大半であると考えられる。アプロ一子が困難な集団を保健事業の対象としようとする試みは非常に高く評価されるべきである。また、今後の広がりも充分期待できる事業である。  
 エビデンスは？— 参加者数の増加も評価指標の一つではあるが、保育園に入園していない児の総数を分母にして、参加者の割合を算出することも重要なエビデンスである。また、個々の参加者の要望を深く掘り下げることで、集団における数値では評価不可能な問題点を発見できる可能性がある。(ST)



<b>大野町役場：福祉保健課 保健衛生係 親と子のあいの広場</b>	
〒879-6441 大分県大野郡大野町大字田中 55 番地の 1 (TEL) 0974-34-2305、(FAX) 0974-34-2821 (ホームページ) <a href="http://www.town.ohno.oita.jp/">http://www.town.ohno.oita.jp/</a>	
人口 5,453 人(出生数 22 人) 母子保健担当者:保健師、全保健師数 3 人(母子保健担当保健師数 1人) 区分:市町村	
<b>事業課題</b>	■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ
<b>事業の背景</b>	少子化が進み、保護者より子供同士であそべせる場がない。近くに子ともかいない等の声が聞かれるようになった。また、児童館・公民館・役場のそれぞれ機関が同様の対象にそれぞれの事業を実施していたのを1本化して効果的な事業展開を図った。
<b>提案者</b>	母子保健担当者 その他(児童館)
<b>事業のねらい・目標</b>	保育園に入所していない親子が集い、触れ合う場となる。 その中で親同士が情報交換し、仲間作りをすともにも育児不安の軽減につながる。 ■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する ■住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する
<b>数値目標</b>	あり
<b>対象</b>	幼児
<b>実施期間</b>	平成 15 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月 1 年計画
<b>実施内容</b>	対象を1歳~5歳までの保育園に入っていない親子とし年6回開催 親子遊びを中心に、室内だけでなく川遊び雪遊び(そり)等を取り入れる また、参加者の要望により子育てについての学習会も取り入れている
<b>事業内容</b>	■既存事業の工夫
<b>協力機関</b>	教育委員会
<b>従事者内訳</b>	保健師 栄養士 事務職員 保育士
<b>補助金・助成金</b>	都道府県 市町村
<b>事業の評価</b>	参加する親子が増える ■今後も継続する
<b>今後の課題</b>	参加者の要望にこたえた内容の検討
<b>キーワード</b>	親子のふれあい 交流 学習 親子遊び 育児支援 育児不安 ■地域の子育て支援の充実

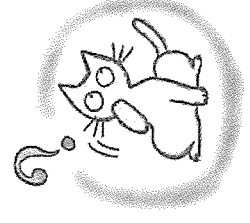
今後の課題	<p>保護者の事故予防の取り組みの実際を紹介。事故予防の情報交換ができる子育てボードを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット子育てシリーズNO.7(チャイルドシート)作成予定。</li> <li>・使用度が低いため、母親の着用指導も合わせて行う。また、交通安全指導員の協力を得る。</li> <li>・お風呂の事故予防の取り組みについて検討</li> <li>・現在の誤飲子エッカードの使用率が低いため、配布時期、指導内容の検討</li> <li>・2～3ヶ月児の家庭訪問時、個々の家庭環境に合わせた事故予防指導の実施</li> </ul>
キーワード	<p>小児事故防止 事故予防 ■ 子どもの事故防止</p> <p>**** コメント ****</p> <p>ここに注目！— 既存の統計から判明している問題点を的確に捉えている点は非常に重要である。児の発育に合わせて事業内容を構築しており、個々の家庭環境を勘案した指導まで実施されている。本事業の実施にあたっては大きな労力が必要と判断できるが、10年間という長期間の計画であることは特筆に値する。</p> <p>エビデンスは？— 事故の種類は多様にわたり、一つ一つの事故は稀な事象であるために、ある特定の問題に対応するための保健事業と同様の手法を用いて事故の減少について評価することは困難と考えられる。有識者からのアドバイスによる評価手法の開発も一考に値する。(ST)</p>



<p><b>塩山市保健課：小児の事故予防プログラム</b></p> <p>〒405-0042 山梨県塩山市上於曾 977-5 TEL) 0553-33-7811、(FAX) 0553-33-7814 E-Mail hokenfukuisenta@city.enzan.yamanashi.jp ホームページ http://www.city.enzan.yamanashi.jp</p> <p>人口 26,587 人(出生数 218 人) 母子保健担当者:保健師、 全保健師数 11 人(母子保健担当保健師数 3 人) 区分:市町村</p>			
事業課題	<p>■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ</p>		
事業の背景	<p>小児の死亡原因の1位は不慮の事故であり、小児保健の重要な課題である。 塩山市でも乳幼児死亡の歴史的経過をみると、「不慮の事故」による死亡が13件あり、「子どもの不慮の事故を防止し、子どもたちが安全に暮らせる」ことを目指した取り組みを開始した。</p>		
提案者	母子保健担当者		
事業のねらい・目標	<p>子供の健康問題のひとつに、事故があることを認識し、事故の予防法を知り、小児の事故が予防できる</p> <p>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</p>		
数値目標	なし		
対象	乳児	幼児	
実施期間	平成 9 年 4 月 ～ 平成 19 年 3 月 10 年計画		
事業内容	<p>妊娠期:母親学級・両親学級 チャイルドシート着用指導 乳幼児期:すくすく学級(2ヶ月児) チャイルドシート着用指導、乳幼児の事故予防指導 3ヶ月児健診時・事故予防リーフレット(転落、誤飲、やけど)配布と集団指導 誤飲子エッカードの配布と集団指導 7ヶ月児健診時・事故予防リーフレット(お風呂の事故)配布と個別指導 1・6ヶ月児健診時・事故予防リーフレット(家庭の中、外の事故、交通事故)配布と集団指導 3歳児健診時・事故予防リーフレット(転倒、転落、ぶつかる)配布と集団指導 実態把握調査・チャイルドシート着用(3ヶ月児健診時) ・チャイルドシート着用、誤飲子エッカード利用、風呂場での事故、事故・ケガによる病院受診 実態把握、事故経験者のみ事故の詳細(1・6ヶ月児、3歳児、5歳児健診時実施)、 保護者対象の講習会、乳幼児救命講習会</p>		
	<p>■既存事業の工夫 ■調査・研究</p>		
協力機関	大学・研究機関	消防署	診療所
従事者内訳	保健師	補助金・助成金	なし
事業の評価	<p>事業評価については、事故の長期的経過(最低10年)をみて評価していく必要がある</p>		

<b>岡山県阿新保健所：8020運動推進特別事業(330運動推進事業)</b>	
〒718-8560 岡山県新見市新見 2056-1 (TEL) 0867-72-1177、(FAX) 0867-72-8537 (E-Mail) ashin-kenko@pref.okayama.jp (ホームページ) http://www.pref.okayama.jp/ashin/kenko/kenko.htm	
人口 37,000 人(出生数 280 人)	
母子保健担当者:保健師、全保健師数 7 人(母子保健担当保健師数 1 人) 区分:都道府県保健所	
事業課題	■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ
事業の背景	管内の3才児う蝕有病者率は、平成13年度50.7%で岡山県平均34.4%より16.3%高く、平成11年度から13年度は県下保健所管内別においてワースト1位を占めており、むし歯予防の推進が課題である。
提案者	その他(保健課)
事業のねらい・目標	地域ぐるみでう蝕予防活動に取り組めるよう歯科保健医療体制を整備し、あらゆる機会に住民の歯科保健に対する意識の向上を図る。 ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める ■住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する
数値目標	あり
対象	新生児 乳児 幼児 学童 父親 母親 妊産婦 家族 関係者・関係機関
実施期間	平成15年7月～平成16年3月 1年計画
事業内容	「めざせ330、阿新の子どもの歯を守ろう！」 1. 関係期間との連携 2. 歯の健康手帳の作成 3. 管内市町が効果的なう蝕予防の取り組みができるよう支援する ■既存事業の工夫 ■ネットワークの推進 ■人材育成の強化(研修等) ■調査・研究
協力機関	保育園 幼稚園 学校 地域のボランティア その他(管内歯科医師会)
住民参画状況	その他(組織団体を通して住民参画を得る。)
従事者内訳	保健師 栄養士 事務職員
補助金・助成金	国
事業の評価	平成15年度事業で現在実施中。 330の達成を目標としているが、今後開催する会議で目標年等については協議する。
キーワード	母子保健 栄養 運動 食生活 歯 ■妊娠中からの母子歯科保健の推進

\*\*\* コメント \*\*\*  
ここに注目！ ― 歯の健康手帳、また330という標語は斬新。母子手帳の成功に見られるように、手帳を持つことで自主管理、自己認識が促されるかもしれない。また、330 は誰にでも簡単に覚えられ、且つ具体的な目標値として認識される。国民運動たる健やか親子21の取り組みとしてふさわしい。評価時期、330の目標達成割合などを設定することで、同取り組みを明確に評価することができる。  
エビデンスは？  
\*有病率は県の平均に比べると高いようだが、その理由について、何か地域に特有なことが明らかになることによって、より効果的な対策を行うことができるでしょう。(NK)



三方町保健センター：妊婦歯科検診と唾液検査

〒919-1333 福井県三方町中央 1-5 (TEL) 0770-45-1563、(FAX) 0770-45-9122  
(ホームページ) <http://www.town.mikata.fukui.jp/hoken/index.html>

人口 9,166 人(出生数 72 人)

母子保健担当者：保健師、全保健師数 5 人(母子保健担当保健師数 2 人) 区分：市町村

事業課題 ■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ

事業の背景 当町は県内でも、1才6か月・3才健診におけるう歯罹患率が高く、母子保健の中では特徴的である。

子どものう歯は、大人からの菌の感染から始まり、大人のう歯に対する意識が大きく影響していると考えられるため、妊婦のう歯に対する関心を高め啓発を図る。

提案者 母子保健担当者 その他(町内の歯科医)

事業のねらい・目標 妊婦の時に、自分の口の中の状況を知ることにより、自分の歯を含め、子どもの歯を守ろうとする意識を持ってもらうことをねらいとする。

■ 住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める

数値目標 あり

対象 妊産婦

実施期間 平成11年4月～平成16年3月 4年計画

事業内容 町内の歯科医院にて、妊婦が歯科健診と唾液検査(唾液の質、量、緩衝能、プラークの量、ミュータンス菌、ラクトノテラス菌の量)を調べてもらう。その結果をもとにして、歯科医師はアドバイスを行う。健診料金は公費負担である。

協力機関 診療所 その他(歯科医院)

住民参画状況 なし

従事者内訳 保健師 歯科医師 歯科衛生士

補助金・助成金 市町村

事業の評価 初めてこの検査を受けられた妊婦から生まれた子どもたちが現在3歳になってきていることから、3歳児健診結果をもとに評価を考えている。  
■今後も継続する

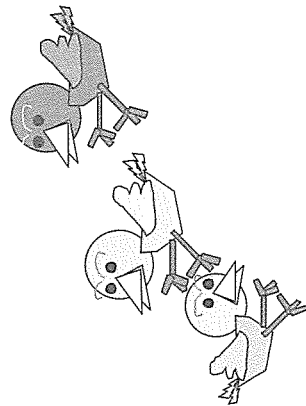
今後の課題 子どもの歯を守ろうとする親が増え、実際に行動につなげるようになること。

キーワード 母子保健 栄養 運動 食生活 歯  
■妊娠中からの母子歯科保健の推進

\*\*\*\*\* コメント \*\*\*\*\*

ここに注目！— 子どものう歯の一次予防として、妊婦を子どもとう歯の原因菌の暴露要因ととらえ、そこにアプローチする戦略は、先駆的である。妊婦への教育は、児の成育後の、母から児、あるいは他の家族への保健指導とつながることが期待できることから、プライマリヘルスケアの原則を良く捉えた取り組みといえる。

エビデンスは？— う歯評価に対する唾液検査は既に広く行われており、その評価法も確立しているため、唾液検査の使用は妥当と考えられる。(NK)

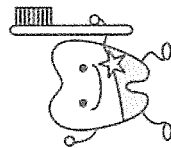


<b>修善寺町福祉健康課：食育ノススメ推進事業</b>	
〒410-2413 静岡県田方郡修善寺町小立野 38-2 (TEL) 0558-72-9858、(FAX) 0558-72-8638 (E-Mail) t5fukus@shuzenji.kyogikai.mishima.shizuoka.jp (ホームページ) <a href="http://www.shuzenji.kyogikai.mishima.shizuoka.jp/">http://www.shuzenji.kyogikai.mishima.shizuoka.jp/</a>	
人口 17,000 人(出生数 110 人)	区分: 市町村
母子保健担当者: 保健師・栄養士、全保健師教 5 人(母子保健担当保健師教 2 人)	
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</li> <li>■ 健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ</li> </ul>
事業の背景	町の事業として、小・中学生への食に関する支援事業が薄かった為、その強化として行った。
提案者	母子保健担当者
事業のねらい・目標	修善寺町の子どもが健やかに育つために、子どもを取り巻き家族、地域、学校等において、保護者及び子どもの食を中心とした環境づくりを支援する。また、生涯にわたる健康づくりの基盤を確立する。
数値目標	■ 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する
対象	幼児 学童 思春期 家族 関係者・関係機関
実施期間	平成 14 年 4 月 ~ 平成 19 年 3 月 5 年計画
事業内容	<p>事業の核として、連絡調整会議を開催するが、構成員に保護者、地域団体の代表者を加える事により、住民の意見を大きく反映させる。</p> <p>地域住民が子どもの健康を育む為に料理教室等を企画し、地域団体の協力を得て事業を展開する。</p> <p>学校と連携をとり、生活習慣病のリスクの高い児童生徒への個別及び集団支援を行う。</p> <p>子どもが自らの食生活を考えることができるよう、分かりやすい内容で事業を展開する。</p> <p>■ 個別支援や集団支援のツール開発 ■ ネットワークの推進</p>
協力機関	保健センター・保健所 保育園 幼稚園 学校 教育委員会 その他(健康づくり食生活推進員 民生委員 保健委員)
住民参画状況	計画から参加 実施主体側として
従事者内訳	保健師 栄養士 医師 養護教諭
補助金・助成金	国 都道府県

子どもが作れる料理教室参加者数とアンケート調査の回答で評価する。昨年の調査では、料理が楽しい、また参加したいとの回答者は 82.5%、家で話をするとの回答者は 69.3%であり、料理教室は効果的な事業と考えられる。	事業の評価
講演会の参加者数。 朝食実態調査を全小・中学生に行い、経年的変化において評価する。 今後は、地域の中で、子どもへの食育支援事業(料理教室等)の開催及び参加者数を評価に加える。 ■ 今後も継続する	
料理教室を地域で開催しているが、地域住民としての参加は食推員、民生員、保健委員が多数を占めている。今後は地域住民、保護者への呼びかけを強化する。 児童・生徒への生活習慣病予防支援を保護者からの申込制で行っているが、小児生活習慣病についての認識が薄い保護者に対し、意識の向上を図る為の支援が必要である。	今後の課題
取り組みの事業に関するホームページ <a href="http://www.shuzenji.kyogikai.mishima.shizuoka.jp/">http://www.shuzenji.kyogikai.mishima.shizuoka.jp/</a>	
健康と医療 健康教室 子どもの教室 ■ 食育の推進	キーワード
<p>*** コメント ***</p> <p>ここに注目！ 広く関係機関の連携調整を図り、住民を強く巻き込んだ形の取り組みは近年増加してきているが、そういった取り組みの雛形になりうるものである。小中学生の経年的な悉皆調査による評価は質が高い。</p> <p>エビデンスは？—</p> <p>* 評価法もいろいろ工夫している。参加者/対象者割合での評価もあろう。自主参加の場合の参加者の意識の評価は難しい面があるが、また参加したいという意見が多いことは事業として評価されていることになる。(NK)</p>	



事業の評価	平成16年度までに小学校入学時のむし歯保有率が75%以下に、中学校入学時については80%以下にする。 数値目標を評価した。
今後の課題	県のモデル事業は平成14年度までであり、今後は町の事業として継続した取り組みを展開する。
キーワード	歯科保健 学校保健 ■妊娠中からの母子歯科保健の推進
コメント	***** コメント ***** ここに注目！— 行政無線を歯科保健にまで活用している事例はあまり見かけない。町の規模の小ささの利点(軽いフットワーク)をよく生かし、様々な組織同士がよく連携している。また、具体的な目標値が示されており、事業の適切な評価に結びつくことが期待される。 エビデンスは？— 歯磨きソングや川柳は、これまでの事例から”はやる”とかなり大きな効果が期待できる。 モデル事業終了後の継続性に期待したい。歯磨きソングや川柳の認知率なども調査してみると、事業の浸透度が分かるだろう。また、円滑な連携の秘けつもぜひ知りたい。(NK)



鹿野町立保健センター：学校・地域歯科保健推進連携モデル事業	
〒889-0425 鳥取県高気郡鹿野町今市 650 (TEL) 0857-84-2431、(FAX) 0857-84-3709 (E-Mail) kenkou@town.shikano.tottori.jp	
人口 4,440 人(出生数 20 人)	
母子保健担当者：事務・保健師・栄養士、全保健師数 2 人(母子保健担当保健師数 1 人) 区分：市町村	
事業課題	■小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備 ■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ
事業の背景	町のむし歯保有率および学校におけるむし歯処置率が他町村と比べて悪い傾向にあり、地域と学校が連携してむし歯予防に取り組んでいく必要がある。また子供のむし歯予防をとおして大人の口腔衛生にも取り組んでいく必要がある。平成13年度より県のモデル事業の指定を受ける。
提案者	母子保健担当者 その他(県のモデル事業)
事業のねらい・目標	小、中学生のむし歯保有率の低下とむし歯処置率の向上を目標に、幼児期から学童期にかけての子供および保護者の意識の向上を目指す。 ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める ■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する
数値目標	あり
対象	幼児 学童 父親 母親 妊産婦 家族 関係者・関係機関
実施期間	平成13年4月～平成16年3月 3年計画
事業内容	地域と学校関係者との連絡会の開催。各機関でできる事業に取り組んでいく。特に小学校では「歯と口のモデル指定校」の指定を受けたこともあり、授業の中に歯科保健の内容を取り入れたり、地域の人材をゲストティーチャーとして招き連携した事業を展開した。行政無線の中に歯磨きソングや川柳を流す。町報の活用。歯科医院に行き易くするため幼稚園の歯科健診を歯科医院で行う。「歯磨きステッカー」を作成し対象者に配布する等 ■既存事業の工夫 ■ネットワークの推進 ■マニュアル・ガイドラインの作成 ■人材育成の強化(研修等)
協力機関	保育園 幼稚園 学校 教育委員会 診療所
住民参画状況	計画から参加
従事者内訳	保健師 栄養士 歯科医師 歯科衛生士 事務職員 保育士 教員 養護教諭
補助金・助成金	都道府県 市町村

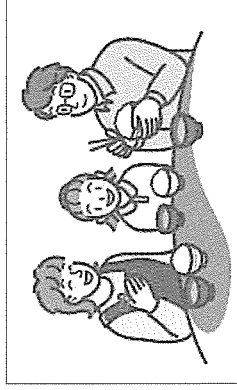


<b>深浦町福祉課：禁煙・防煙対策</b>									
〒038-2324 青森県西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢 84 の 2 (TEL) 0173-74-2111、(FAX) 0173-74-4415 (ホームページ) <a href="http://www.town.fukaura.aomori.jp/">http://www.town.fukaura.aomori.jp/</a>									
人口 8,930 人(出生数 48 人) 母子保健担当者:事務・保健師・栄養士・その他(看護師)、 全保健師数 5 人(母子保健担当保健師数 2 人) 区分:市町村									
事業課題 ■ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 ■ 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 ■ 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備 ■ 子ども心の安らかな発達促進と育児不安の軽減 ■ 健康日本 21 に含まれる母子保健に関するテーマ									
事業の背景 1. 妊婦喫煙率は 20.8%、同居者の喫煙率は 80.2%と高い。 2. 喫煙経験率は、年齢が進むにつれ高くなっていく。(小学生 85%、中学生 29.4%) 3. 平成 12 年 9 月「健康長寿のまち」宣言。平成 13 年 4 月 1 日「深浦町自動車販売の適正な設置及び管理に関する条例」施行。									
提案者 住民 自治体の長 母子保健担当者									
事業のねらい・目標 1. 禁煙及び若く健康影響について知識の普及。(妊婦指導の強化) 2. 保育園、小中学校を対象とした喫煙予防教室を毎年実施。(平成 12 年小中 100%、平成 18 年 100%) 3. 公共の場および職場における分煙、禁煙の徹底。 4. たばこの自販機の屋外からの撤去 ■ 住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める ■ 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する ■ 住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する									
数値目標 あり									
事業内容 対象 幼児 学童 思春期 父親 母親 妊産婦 家族 関係者・関係機関 実施期間 平成 14 年 4 月 ~ 平成 18 年 3 月 4 年計画 1. 町長が先駆けて禁煙。 2. 小中学校を対象に予防教室実施前後にアンケート調査実施。 3. 健康教育は、紙芝居、ビデオ上映、講話、実験、健康劇(保健協力員による) 4. 保育園、学校、地域が一体となり町ぐるみの取り組みを推進していくため、「こどもの時からの健康づくり推進協議会」を立ち上げたが、うまく連携がとれていない。 ■ 既存事業の工夫 ■ 個別支援や集団支援のツール開発 ■ ネットワークの推進									

協力機関 保健センター・保健所 保育園 学校 教育委員会 診療所	
住民参画状況 計画から参加	
従事者内訳 保健師 医師 教員 養護教諭	
補助金・助成金 市町村	
事業の評価 1. 未成年者の喫煙経験率をなくする。 2. 妊婦の喫煙率を減らす。 3. 防煙教育を実施する保育園、学校数を増やす。 4. 禁煙することに関心がある人を増やす。	
今後の課題 学校関係者(特に養護教諭)、保護者どう連携していくか。	
取り組みの事業に関するホームページ <a href="http://www.town.fukaura.aomori.jp/行政情報/新条例/a-4.html">http://www.town.fukaura.aomori.jp/行政情報/新条例/a-4.html</a>	
キーワード 深浦町 たばこ ■ 地域の子育て支援の充実	
<p>***** コメント *****</p> <p>ここに注目！ 首長の禁煙は重要。町の問題点を、基礎データ一列によって明確に把握しており、その問題意識に裏づけされた「やる気」が伝わってくる。ほかの自治体の連携の成功事例を参考に活動を進め、今後の具体的な取り組みの成果に期待したい。</p> <p>エピソードは？— 評価の時期の設定と、より具体的な目標値を設定することで、取り組みの客観的な評価が可能である。(NK)</p>	



事業の評価	近隣地区の小中学校が合同で学校保健委員会を開催することにより、小・中一貫した取り組みが行えた。
キーワード	思春期 母子保健 栄養 運動 食生活 歯
*** コメント ***	ここに注目！— 基礎的調査を詳細に行っていることはすばらしい。塩分調査等を、対象者である児童、生徒によって行なうことは、対象者の主体的参加につながる良いアイデアだろう。自分の家の味噌汁について調べられた親御としても、地域担当者に調べられ、指導を受けられるより、子どものかかわりの中での啓発が行われる点で、より高い、効果が期待できるかもしれない。祖父母にまで子どもからアプローチさせるのもユニークで、世代を超えた家族ぐるみの健康教育につながる事が期待できる。(NK)



<b>大多喜町健康福祉課：地域けんこう委員会・大多喜中学校区けんこう委員会</b>	
〒298-0292 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 93 番地 (TEL) 0470-82-2111、(FAX) 0470-82-4461 (E-Mail) kenko@town.otaki.chiba.jp	
人口 11,613 人(出生数 72 人) 母子保健担当者：事務・保健師・栄養士、全保健師数 3 人(母子保健担当保健師数 3 人) 区分：市町村	
事業課題	■ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 ■ 健康日本 21 に含まれる母子保健に関するテーマ
事業の背景	子どもの頃からの食習慣・生活習慣が今後の健康・より後の健康・より後の健康・より後の健康に大きく考えられ、学校との連携により、よりよい取り組みと、地域の生活習慣病予防を図る。
提案者	その他 (地域の小中学校)
事業のねらい・目標	子どもの心身の健康管理と健康意識の向上。また地域の健康・より後の健康・より後の健康に生かす。 ■ 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する ■ 住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する
数値目標	なし
対象	児童 父親 母親 家族 関係者・関係機関
実施期間	平成 14 年 4 月 ~ 平成 18 年 3 月 4 年計画
事業内容	(高血圧について)小中学校の尿中塩分測定。 児童と生徒によるみそ汁の塩分調査結果発表。 保健師による生活習慣アンケートの実施と結果発表。 (朝食について)栄養士による朝食についての講義と、小中学校の朝食アンケートの実施。 (歯科について)児童・生徒・学校職員による給食一食分の咀嚼調査・ 生徒による祖父母の咀嚼についての調査発表 (貧血について)ハランスのよい食生活について実施 ■ 既存事業の工夫 ■ ネットワークの推進
協力機関	保健センター・保健所 学校 教育委員会 診療所
住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師 栄養士 医師 歯科医師 教員 養護教諭
補助金・助成金	なし

補助金・助成金	国 都道府県 市町村
事業の評価	小学生には教室開催前後にアンケートを書いてももらった。喫煙してみたいと思ったことがある児童は教室開催後減っている。教室開催後、児童には感想や自分で考えたタバコの断り方を書いてもらった。中学生には感想文を書いてもらった。評価は児童生徒が成人式を迎えた時にアンケートをとり、喫煙経験者数、喫煙開始年齢等を把握する。
今後の課題	児童の対象選定、回数、検討の必要がある。 (平成16年度は学校と協議し、小学校3・4年、5・6年を対象に、中・高学年の内容を変えて実施した。)
キーワード	思春期 喫煙予防 ■思春期における性教育の推進
**** コメント ****	ここに注目！— 成人式での実態調査から得られた事実を元に事業を組み立てる姿勢があるところが評価できる。対象者を20歳まで追跡して喫煙経験者数を評価しようとする点もよい。卒業後村を出た者も、成人式には多くは帰郷することを考えると、成人式での喫煙率調査による評価は質が高いものになるだろう。母子保健担当者主導の下、学校ともよく連携されている。
**** エビデンス ****	果については多くの報告がある。さらに、20歳時点の喫煙経験者数をどれだけ減少させたのか、という目標設定を行うことで、客観的な事業の評価になりもつとよい事業になる。(NK)



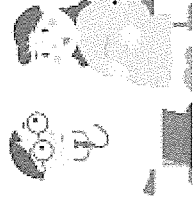
### 三厩村役場 健康福祉課 喫煙予防教室

◎ 学校の理解、協力が得られ、授業の一環として実施している事業です。  
小、中学生に「タバコの害」「副流煙の害」を伝えることで、未成年の喫煙予防を図ると共に、家庭に帰ってから、家族に「タバコは体に悪いからやめて」「役場の保健師さんがタバコのやめ方教えてくれるって」と話す機会にもなっています。  
実際に「子どもにタバコをやめ方を教える」と言われれば「やめなさい」と禁煙した父親、「子どもから、タバコをやめられる方法を保健師が教えてくれる」と聞いて、「禁煙相談がありました。喫煙者個別健康教育を行った父親もいました。  
来年度は小学校の授業参観日に実施し、保護者も一緒に参加してもらいたいことになりました。また、春には町村合併を迎えますので、未実施の小、中学校でも実施していきたいと考えています。

母子保健担当

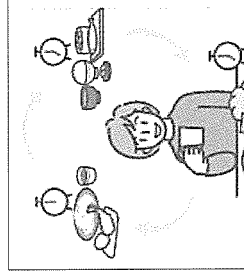
三厩村役場 健康福祉課：喫煙予防教室	
〒030-1798 青森県東津軽郡三厩村字本町 59 (TEL) 0174-37-2001、(FAX) 0174-37-2540 (E-Mail) hukuhoh_mimaya@net.pref.aomori.jp	
人口 2,810 人(出生数 15 人) 母子保健担当者: 保健師、全保健師数 3 人(母子保健担当保健師数 3 人) 区分: 市町村	
事業課題	■思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 ■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ
事業の背景	本村の妊娠中の喫煙率は国と比較して高い。また、成人式を迎えた人を対象にしたアンケートの結果、9割が未成年から喫煙習慣があることが分かった。小・中学生のアンケート結果でも喫煙経験があることがわかったため、未成年の喫煙を防止するため教室を実施する。
提案者	母子保健担当者 その他(小学校と協議し、平成11年度は保健所事業、平成13年度からは村単独事業として小学校4年、6年を対象に実施。平成15年度は中学校の要望により、教育委員会と共催で全校生徒、保護者を対象に実施。)
事業のねらい・目標	ねらい: タバコの正しい知識の習得を図り、未成年期の喫煙を防止する。児童、生徒は興味で喫煙することなく、他の人に喫煙を誘われてもきちんと断ることができる。保護者は副流煙の害を知り、家庭内分煙を行うことができる。 ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める
数値目標	あり
事業対象	学童 思春期 父親 母親
実施期間	平成 11 年 7 月 ~ 平成 24 年 7 月 13 年計画
内容	小学校: 小学4年→講話、人体図の塗り絵(タバコを吸うと悪くなると思う部分に色塗り)、スモーカーキングガイを使用した実験、ビデオ。 小学6年→講話、妊婦がタバコを吸うとどうなるかわかる人形を使った実験、ビデオ、フラスコを使った実験(タバコを吸わせるとフラスコ内の液体にタールがたまる)。児童は4年と6年に2回勉強し、タバコの害について学びを深める。 中学校: 薬剤師を講師とし、講話、実験(スモーカーキングガイ、喫煙者の一酸化炭素濃度検査)を行った。
協力機関	保健センター・保健所 学校 教育委員会
住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師 薬剤師 事務職員 教員 養護教諭

取り組みの事業に関するホームページ	http://www.city.kamagaya.chiba.jp/
キーワード	妊娠 出産 母子保健 栄養 運動 食生活 歯 ■地域の子育て支援の充実
***** コメント *****	
	ここに注目！ 通常役場窓口が担当する母子保健手帳交付場で、保健スタッフが介入して指導を行なうことは大変重要である。その場の指導だけでなく、希望者を個別指導へとつなげるという点が評価できる。 エビデンスは？ 妊婦の喫煙は若年女性の喫煙率の上昇で問題が顕著化している。いろいろな試みによって、なにより最も効果的な方法なのかを関係者が共有し、実践していきたい。そのためにも、それぞれの取り組みが科学的な評価をして、発信して欲しい。(NIK)



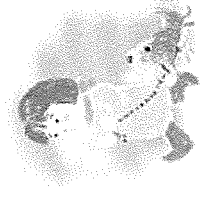
鎌ヶ谷市健康管理課 禁煙教育・指導(母子健康手帳交付時)	
住所 〒273-0195 千葉県鎌ヶ谷市初富 928-744 (TEL)047-445-1141 (FAX)047-443-2233 E-Mail kenkan@city.kamagaya.chiba.jp	
人口 102,880 人(出生数 985 人) 母子保健担当者:保健師 栄養士 歯科衛生士、全保健師数 14 人(母子保健担当保健師数 7 人) 区分:市町村(保健センター等)	
事業課題	■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 ■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ (栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)
事業の背景	H14年度の母子健康手帳交付時妊婦の喫煙率 12.0%と高率のため。
提案者	母子保健担当者
事業のねらい・目標	ハーフレットを活用し、喫煙指導を行うことにより、当市における妊婦の喫煙率の減少を目的とする。 !! 住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める !! 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する
数値目標	数値目標あり
対象	妊産婦
実施期間	平成 15 年 4 月 ~ 平成 18 年 3 月 3 年計画
事業内容	母子健康手帳交付時に全数面接し、喫煙者に対し状況確認をし、「ママ、タバコ吸わないで」のハーフレットを利用して禁煙に向けての助言を行いその後、禁煙の希望がある妊婦に対して、個別禁煙相談を行なう。 ■既存事業の工夫 ■相談機能の強化 ■マニュアル・ガイドラインの作成
協力機関	なし
住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師
補助金・助成金	なし
事業の評価	○喫煙妊婦に対しては妊娠中に禁煙中に禁煙しているかを確認し評価を行う ○母子健康手帳交付時の喫煙率の低下。
今後の課題	思春期保健対策

事業の評価	肥満実態調査年次推移より【4・5歳児】平成10年度 3.8% 14年度 1.7%／【小学生】平成9年度 12.9% 14年度 9.2%／○肥満児の割合は年々減ってきている。／肥満児の年次推移のほかにアンケートの実施等。そのほかの評価方法についても検討中。
今後の課題	協議会を発足させてから5年目に入り、これまでいろいろな取り組みをしてきた。子どもを囲む環境も少しずつ変化するなかで、そのときの健康問題にそった取り組みを検討し、継続していくことが必要である。また、子どもの生活習慣を考えると、保護者や家族全体の生活習慣を見直していく必要がある。保護者に対してはどう呼びかけていくか等も課題として考えられる。
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	心身 ■なし
コメント	*** コメント *** ここに注目：強い問題意識を背景に、関連機関の連携のもと、具体的な活動が進んでいる。重点課題を決めてアピールしていく点は高い啓発効果が期待される。「我が家の自慢の朝ごはん」のように、住民参加型、住民主役の啓発情報の配布は健やか親子21の理念をよく踏襲している。ポピュレーション・ストラテジーによる食育の推進、肥満予防といえる。地域全体の児童の肥満有病率を評価項目とする点は妥当である。(NK)



朝来町保健福祉課 健康な子どもを育てる協議会	
住所	〒697-3431 兵庫県朝来郡朝来町新井 148 (TEL)079-677-1724 (FAX)079-677-1357
E-Mail	hokenhukusi@town-asago.jp
人口	0人(出生数0人)
母子保健担当者	保健師、全保健師数0人(母子保健担当保健師数0人) 区分:市町村(保健センター等)
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</li> <li>■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ(栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)</li> </ul>
事業の背景	平成9年度に小学生肥満児童の割合が県下でワースト4位だった。子どもの肥満は、生活習慣との関係が深いことから、子どもの食習慣・生活習慣について家族・地域ぐるみで考えるために保健福祉課(保健師・栄養士)、教育委員会、学校養護教諭等が協議会を発足。子どもの健康のための取り組みを関係者で検討している。
提案者	自治体の長 その他
事業のねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの心身の健康問題について各関係者が検討し、取り組みへとつなげていく。家族・地域ぐるみで子どもの健康について考え、それが地域全体の健康にもつながるように支援する。</li> <li>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</li> <li>■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する</li> </ul>
数値目標	数値目標なし
対象	幼児 学童 思春期 父親 母親 家族
実施期間	平成10年2月～平成16年3月 5年計画
実施内容	<p>栄養指導、歯科指導等を実施。またこれまでは、子どもの健康に関する標語を募集しその中から協議会の活動テーマを「あさひる ばん しっかり食べて元気に遊ぼう」に決定。特に「朝ごはんの大切さ」に重点を置いて「我が家の自慢の朝ごはん」メニュー等を募集、冊子にまとめた。また、幼稚園から中学生までを対象に子どもの生活習慣、歯科アンケートをとり、子どもの健康問題を見直し検討している段階である。</p> <p>■既存事業の工夫 ■ネットワークの推進 ■調査・研究</p>
協力機関	保健センター・保健所 福祉事務所 子育て支援センター 保育園 幼稚園 学校 教育委員会 その他(町内開業医師)
住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師 栄養士 医師 歯科衛生士 保育士 養護教諭
補助金・助成金	市町村

今後の課題	今後も保育園・幼稚園と協力して啓発活動をしていきたい なお、ビデオ、ミニ絵本については、城南区以外の保育園・幼稚園等へ販売している。
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	O157、予防、ツール開発、ビデオ、絵本、幼稚園、保育園 ■子どもの事故防止
*** コメント ***	O157 感染症は、とくに子どもや高齢者にとっては重篤な結果をまねく可能性が高く、その予防は確実・早急なものが望まれる。福岡市城南区では、過去の集団感染を繰り返さないために、対象を絞った予防啓発事業を展開している。幼児向けに特化した保健教材が少ない中で、オリジナルのキャラクターを作り、それらをビデオと絵本に登場させた予防啓発ストーリーを作るというたいへんに手の込んだ取り組みといえる。子どもたちの息をのむ姿が見えるようだ。予防教室を28回にわたって展開するなど、母親たちの不安の解消とともに予防行動を喚起しようとする本事業では早くも成果があらわれはじめているようだ。(KM)



福岡市城南区保健福祉センター 衛生課：親子でやろう乳幼児のO157予防キャンペーン		
住所 下814-0103 福岡市城南区鳥飼五丁目2-25 (TEL)092-831-4219 (FAX)092-822-5844 (E-Mail) eisei_jw@city.fukuoka.jp (ホームページ)http://www.city.fukuoka.jp/index.html		
人口 119,000 人(出生数 1,044 人) 母子保健担当者、全保健師数(+母子保健担当保健師数)：記載なし 区分：政令市・特別区(本庁・保健所等)		
事業課題	■健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ (栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)	
事業の背景	平成14年6月に区内の保育園で感染者126人(内園児86人)のO157集団感染が発生。保育園や保護者の間から感染に対する不安を訴える声が根強いため、区独自の事業として城南区保育園長会と協力しながら企画した。	
提案者	その他(保育園)	
事業のねらい・目標	O157のハイリスクグループである幼児とその保護者にターゲットを絞った予防啓発 ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める	
数値目標	数値目標なし	
対象	幼児 父親 母親	
実施期間	平成16年7月～平成16年8月 1年計画	
事業内容	子どもが親しみやすいよう、油山(区内にある山)に住む森の妖精「ニコリ」とO157の王様「フルモン」というオリジナルキャラクターが登場するビデオ(約10分)とミニ絵本(「ニコリ」と「フルモンのみんなでO157予防」)を作成し、区内の各保育園・幼稚園で、園児・保護者・職員を対象に計28回のO157予防教室を開催した。 ■個別支援や集団支援のツール開発	
事業内容	協力機関	保育園 幼稚園
	住民参画状況	■計画から参加
	従事者内訳	その他(食品衛生監視員)
	補助金・助成金	なし
事業の評価	ビデオに対する子ども達の反応が良く、最後に「フルモンが口に入ると病気になる」「フルモンが来るから手を洗う」などの会話が見られた。保護者のアンケートから「焼肉の箸は盲点だった」「子どもにはレバ刺しを食べさせないようにしたい」「子どもと一緒に手洗いをしたいと思う」「このような教室を定期的に行って欲しい」等の感想がみられた。	

Ⅲ. 「健やか親子21」公式ホームページ 取り組みのデータベースの使い方

**「健やか親子21」公式ホームページ**  
 -母子療養の2010年までの国民運動計画-

**健やか親子21**  
 027-744-0169  
 00277447  
 00277487

**お問い合わせ**

**お問い合わせ先**  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 厚生労働省 国民生活センター

**お問い合わせ先**  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 厚生労働省 国民生活センター

**お問い合わせ先**  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 厚生労働省 国民生活センター

**お問い合わせ先**  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 厚生労働省 国民生活センター

**お問い合わせ先**  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 厚生労働省 国民生活センター

**健やか親子21 取り組みのデータベース**  
 地域や団体の取り組み（事業）を検索・登録できるデータベースです。

**検索条件**  
 キーワードを入力してください

**検索結果**  
 子どもの発達段階の  
 取り組みが  
 見つかりました

**検索結果**  
 子どもの発達段階の  
 取り組みが  
 見つかりました

**検索結果**  
 子どもの発達段階の  
 取り組みが  
 見つかりました

**検索結果**  
 子どもの発達段階の  
 取り組みが  
 見つかりました

**検索結果**  
 子どもの発達段階の  
 取り組みが  
 見つかりました

**健やか親子21 取り組みのデータベース**  
 地域や団体の取り組み（事業）を登録・検索できるデータベースです。

**1. トップページが登録・更新ボタンをクリックしてください**

**2. 登録地域と団体区分を登録してください**

**登録地域**  
 国体の都道府県と団体区分を登録してください

**団体区分**  
 国体の都道府県と団体区分を登録してください

**登録地域**  
 国体の都道府県と団体区分を登録してください

**団体区分**  
 国体の都道府県と団体区分を登録してください

**登録地域**  
 国体の都道府県と団体区分を登録してください

**団体区分**  
 国体の都道府県と団体区分を登録してください

次ページへ続く

以下は登録公開内容の一覧です(掲載内容はサンプル)

団体名	〇〇県**保健所
住所	〇〇県〇〇市**町 1-2-3
電話・FAX	(TEL) 012-345-6789 (FAX) 987-654-3210
E-Mail	hogehoge@hogehoge.jp
ホームページ	http://rhino.yamamashi-med.ac.jp/sukoyaka/
人口	480,000人
出生数	4,000人
母子保健担当者	保健師
全保健師数	21人
母子保健担当保健師数	2人
区分	都道府県保健所
事業名	薬物乱用対策～地域における予防・相談・援助のトータルプランの実現を目指して～
事業課題	思春期の保健対策の強化と健康教育の推進
事業の背景	1 薬物問題は「第3次覚醒剤乱用期」といわれられており、青少年の拡大があげられている。 2 薬物問題には、予防対策と乱用者対策の双方からのアプローチが必要であり、その対策の体系はできていない。 3 薬物問題はその対応の速報はできていない。 4 青少年の保護者だけでなく、地域の住民の意識も高くなく、問題意識をもっていない。
提案者	母子保健担当者 その他(企画分野の保健師)
事業のねらい・目標	普及を図るために、学校での健康教育の実施率をあげる。現在小学生で3割・中学生で6割 1 予防対策として、小学生・中学生に重点をおいた薬物に対する正しい知識の普及を図るために、学校での健康教育の実施率をあげる。現在小学生で3割・中学生で6割 2 実施内容を整理して、広く教育が実施できるようにプログラムを作成する。 3 プログラムを活用して、住民のボランティアの養成をする 4 乱用者に対して対応するために、関係者のネットワークをつくる  住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める。 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する。 住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する。  教値目標あり

次ページへ続く

3. 団体情報の登録画面になります。説明に通り、入力していきます。

4. 事業情報の登録画面になります。問題に入力していきます。



#### IV. 評価メンバー

セレクト100 選抜は当研究班のメンバー（主任研究者、分担研究者、研究協力者）を中心に作業をおこないました。また、コメントの作成にあたっては、加えて、あいち小児保健医療総合センター総合診療部長の山崎嘉久先生に評価のコメントをいただきました。選抜および評価コメント執筆者は次のとおりです。

氏名	所属	役職
近藤 尚己	山梨大学大学院医学工学総合研究所社会医学講座	助手
鈴木 孝太	山梨大学大学院医学工学総合研究所社会医学講座	助手
武田 康久	山梨大学大学院医学工学総合研究所社会医学講座	助教授
田中 太一郎	滋賀医科大学福祉保健医学講座	リサーチレジデント
谷原 真一	鳥根大学医学部公衆衛生学講座	助教授
玉腰 浩司	名古屋大学大学院医学研究科公衆衛生学	助教授
中村 敬	日本子ども家庭総合研究所、大正大学人間学部	教授
長瀬 博文	富山県衛生研究所 環境保健部	環境保健部主幹
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部地域看護学講座	教授
葉袋 淳子	山梨大学大学院医学工学総合研究所社会医学講座	大学院生
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究所社会医学講座	教授
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター総合診療部	部長
山田 七重	山梨大学大学院医学工学総合研究所社会医学講座	元リサーチレジデント
山中 龍宏	緑園こどもクリニック	院長

五十音順

#### 【 研究班 】

平成16年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）

研究課題：健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究

課題番号：16110101

主任研究者：山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究所社会医学講座）

分担研究者：松浦賢長（福岡県立看護大学看護学部地域看護学講座）

山中龍宏（緑園こどもクリニック）

中村敬（日本子ども家庭総合研究所、大正大学人間学部）

谷原真一（鳥根大学医学部公衆衛生学講座）

武田康久（山梨大学大学院医学工学総合研究所社会医学講座）

\* 謝辞 本書作成にあたり、川村由美子氏、川窪ゆう子氏、吉岡名保恵氏、安達麻衣子氏、雨宮志乃氏に編集のお手伝いをしていただきました。この場を借りて感謝の意を表します。

対象	思春期 平成14年4月～平成16年3月 2年計画
実施期間	1 学校において、小学生における健康教育の実施状況と教師の意識調査。 2 1の実践及び検討委員会（教育関係者・相談機関等）を開いて、平成14年度はプログラム（案）の作成。平成15年度はプログラム（案）の試行を行い、CD-ROMに保存して、各学校に配布 3 プログラムを活用してのボランティア講習会の実施と学校への紹介 4 乱用者対策については、関係者とのケース検討を行い、ケースマネージメントについて研修する。
実施内容	ネットワークの推進 ケアシステムの構築 調査・研究
協力機関	学校 教育委員会 警察 地域のボランティア
住民参画状況	実施主体制として
従事者内訳	保健師 養護教諭 その他(民生委員 保護司 ケースワーカー)
補助金・助成金	市町村
事業の評価	1.小学校・中学校での健康教育の実施率（教育長で調査しているので確認する） 2.プログラムCD-ROMの作成。 3.健康教育が実施できるボランティアの数（研修終了者の数） 4.ケース検討会の実施数
今後の課題	今後も継続する ボランティアの実践の推進
取り組みの事業に 関するホームページ	<a href="http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukovaka/">http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukovaka/</a>
検索キーワード	薬物 健康教育 プログラム作成 教材 ボランティア育成 ケース検討会
この事業があてはまる 項目にチェックされてい ます	<input type="checkbox"/> 地域の子育て支援の充実 <input type="checkbox"/> 小児医療の充実 <input type="checkbox"/> 病気や障害のある子どもへの支援 <input type="checkbox"/> 子どもの事故防止 <input type="checkbox"/> 虐待の発生予防 <input type="checkbox"/> 思春期における性教育の推進 <input type="checkbox"/> 食育の推進 <input type="checkbox"/> 妊娠中からの母子精神保健の推進

**都道府県別・事業索引**

**愛知県**

稲豆郡吉良町保健福祉課(保健センター)：ワーキングママサロン……………123  
 愛知県半田保健所：虐待防止対策事業(ほっとはーと、めいせくら)……………135  
 稲豆郡吉良町保健福祉課(保健センター)：祖父会……………139

**青森県**

天間林村保健福祉課 赤ちゃんふれあい体験学習……………5  
 西目屋村保健センター 子育て教室……………7  
 板柳町保健福祉課 赤ちゃんふれあい体験学習……………9  
 青森県：妊婦産後ケアの活用……………37  
 深浦町福祉課：禁煙・防煙対策……………187  
 三厩村役場 健康福祉課：喫煙予防教室……………191

**石川県**

金沢市保健所：性感染症相談(クラミジア抗体検査・相談)事業……………25  
 石川県健康福祉部健康推進課：妊婦禁煙サポート事業……………43  
 石川県健康福祉部健康推進課 子ども健やかセーフティ環境づくり事業……………75  
 石川県健康福祉部健康推進課 入院療養児童相談事業……………77  
 石川県健康福祉部健康推進課 未熟児ママの心のケア事業……………79

**茨城県**

社会福祉法人美野里町社会福祉協議会：社会福祉法人美野里町社会福祉協議会訪問介護員養成研修3 総課程……………33  
 鹿嶋市市民福祉部健康増進課：ペアコーラス……………35

**愛媛県**

松山市保健所：児童虐待予防対策……………119

**大阪府**

大野町役場：福祉保健課 保健衛生係 親子でのあい広場……………175

**大阪府**

泉大津市健康推進課：周産期における予防対応システム……………47  
 泉南市立保健センター：母子手帳交付時の相談・情報提供……………63  
 泉南市保健センター：地域における公民協働の子育て支援活動助成事業～遊び場マップの作成～……………83

**岡山県**

西粟倉村保健福祉課 中学生親子面談(教育委員会、中学校との共同事業)……………11  
 岡山県阿新保健所：8020運動推進特別事業(830運動推進事業)……………179

**神奈川県**

秦野市市民健康課：おめでた家族教室(父親母親教室)……………41  
 茅ヶ崎市健康づくり課：ハイルスク妊産婦教室(若いママの子育て教室・35歳からの子育て教室・働くママの母親教室)……………67  
 平塚保健福祉事務所：保健福祉課 子育て虐待予防対策～不適切な養育を見落とさず所内で共有し対応していくために～……………103  
 橋須賀市健康福祉部子育て支援課：子育て支援ヘルパー派遣事業……………109  
 平塚保健福祉事務所 保健福祉課：地域における居食機能発達支援検討事業……………157

**岐阜県**

加茂郡東白川村役場保健福祉課 思春期自立教室……………21  
 岐阜県中津地域保健所 郡上センター：ハイルスク妊産婦等連絡体制整備事業……………57  
 岐阜県健康福祉部健康推進課 子どもセーフティ環境づくり事業……………71

**京都府**

和知町保健福祉課：みらいの食生活支援事業へのサポート……………163

**熊本県**

合志町福祉課：妊婦あかちゃんふれあい体験事業……………127

**埼玉県**

宮代町健康課(宮代町保健センター)：乳幼児健康未受診見つけ出し……………121  
 さいたま市保健所：保健センター事業ふたごうちクラブ……………145

**佐賀県**

唐津市保健福祉部保健課：お父さんの子育て学級……………113

**滋賀県**

彦根市児童発達支援・健康管理課 虐待予防～虐待・育児不安の養育者(主に母親)のグループカウンセリング……………93

**静岡県**

浜松市保健福祉部保健所健康増進課 外国人のための子育て教室……………87  
 湖西市市民健康課：乳幼児健康診察(未受診者追跡の強化)……………133  
 御前崎町 健康福祉課：チャイルドくらぶ(地域サークル)……………141  
 舞阪町健康福祉課 保健センター：フッ素塗布事業……………171  
 修善寺町福祉健康課：食育ノスタ推進事業……………183

**島根県**

桜江町役場健康福祉課：ひよこサークル……………137

**千葉県**

白井市健康課：マタニティコンサートα……………45  
 印西市中央保健センター：児童館との連携と連携……………107  
 印西市中央保健センター：多胎児支援事業……………111  
 大多喜町健康福祉課：地域けんこう委員会・大多喜中学校区けんこう委員会……………189  
 鎌ケ谷市健康管理課 禁煙教育・指導(母子健康手帳交付時)……………193

**東京都**

品川区 健康課 ひよこもり家族教室……………15  
 武蔵野市福祉保健部健康推進課：ペンギン学級(就労妊婦のための母親学級)……………49  
 東京都多摩区立川保健所 企画調整課：健康日本2011・健やか親子21のたばこ対策を推進する関係者への支援「妊婦の喫煙をゼロにする13か月プロジェクト」……………81  
 東京都杉並区杉並保健所：保健者のこころの相談……………131  
 東京都杉並区杉並保健所 産後のメンタルケアの充実(4か月健診へのEPDS導入)……………151  
 東京都南多摩保健所 子どもの虐待予防活動の展開……………153

**徳島県**

徳島県阿南保健所 健康対策係 未熟児サポート事業……………69

**鳥取県**

鹿野町立保健センター：学校・地域歯科保健推進連携モデル事業……………185

**長崎県**

長崎県南保健所 思春期相談事業……………13

**長野県**

八千穂村役場 すこやか応援団……………89  
 駒ヶ根市教育委員会子ども課：子ども行政の一元化(子ども課)設置……………101  
 長門町和田村保健福祉総合センター：子育て交流室……………117

**奈良県**

王寺町役場 保健福祉課 健康管理係：ちびっこクリニック活動……………143

**新潟県**

長岡市健康課 休日健康診察……………91  
 糸魚川市 障害児通園事業：ささゆり教室……………97  
 新潟市保健所保健予防課：小児肥満対策事業～食育の推進～……………169

**兵庫県**

社町保健介護課 保健センター：療育事業(ナーサリールーム)……………115  
 朝来町保健福祉課 健康な子どもを育てる協議会……………195

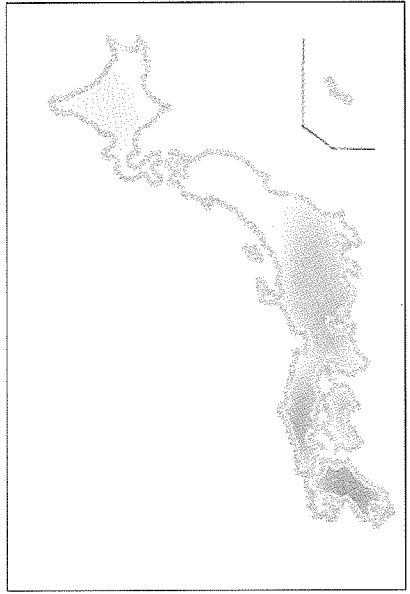
**広島県**

加計町福祉保健課：3歳児健診……………105  
 西城町保健福祉総合センター しあわせ館 健康福祉課：フィリピン料理講習会(おひさま百科)……………161

**福岡県**

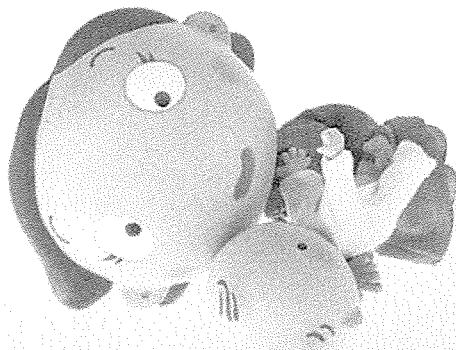
今立町健康福祉課 スクールカウンセリングを囲んでおしゃべり会……………17  
 松岡町総合福祉センター：思春期の保健福祉体験学習……………27  
 三方町保健センター：妊婦歯科検診と唾液検査……………181

<b>福岡県</b>	
福岡健康福祉総合センター(ふくくとしほ)：フレネイタル・ビジット事業	51
福岡市城南区保健福祉センター 衛生課：親子でやろう乳幼児のO157予防キャンペーン	197
<b>福島県</b>	
福島県保健福祉部自立支援領域 子育て支援グループ 若者の妊娠実態調査事業	19
古殿町健康福祉センター：ママパパ学級	65
福島県表郷村役場 健康福祉課「すくすく教室」及び「発達クリニック」(乳幼児育成指導及び発達相談事業)	95
湯川村保健センター：将来に有効な働きがき技術の獲得	165
<b>北海道</b>	
釧路市保健福祉部健康推進課：围産期保健事業	29
穂別町保健福祉課：妊産婦訪問指導連絡票	53
札幌市保健福祉局健康衛生部地域保健課 保健と医療が連携した育児支援ネットワーク事業	99
遠別町福祉課 ママとあそぼ・ひよこクラブ	155
興厚町役場 保健福祉課保健指導係：菌っぴーキッズ応援団	167
<b>三重県</b>	
志摩町役場 住民課 中学生の健康づくり事業	1
南勢志摩県民高保健福祉部 思春期メール相談(思春期ほっとメール)	3
三重県北勢果民局 桑名保健福祉部健康増進グループ：保健所と学校・NGOとの協働で進めるエイズ教育	31
三重県伊賀県民局 保健福祉部：伊賀地域産産期メンタルヘルズ事業	55
飯南町役場住民福祉課ふれあいセンターほげんふさ室 療育教室(音楽療法サークルM)	147
尾鷲市福祉保健課 ①遊やが赤ちゃん訪問事業	149
<b>宮城県</b>	
岩沼市 民生部保健課：ママサポート(産婦・新生児訪問における産後うつ・強度の育児不安のスクリーニング調査並びにその支援)	59
築館町役場 健康福祉課：母子健康手帳交付時の個別相談	61
<b>山口県</b>	
山口県長門健康福祉センター：園児を対象とした禁煙紙芝居	23
玖珂町保健センター(玖珂町健康福祉課)：まみーくら(母親学級・西籍学級)	89
稲葉村健康福祉課 地域ぐるみみの学校保健委員会	73
萩市保健センター 子育て輪作り推進事業	85
光市健康増進課：おっぱい育児推進事業	135
<b>山梨県</b>	
塩山市保健課：小児の事故予防プログラム	177
<b>和歌山県</b>	
有田市健康対策課保健指導係：あそびの教室	129
高野口町役場住民課：ありんこの会	169
野上町保健福祉課：ミニユース隊の母子感染予防	173



「健やか親子21」公式ホームページ  
「取り組みのデータベース」優秀事業

# セレクト2006



2007年 3月

平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)

「健やか親子21」の推進のための

情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」  
研究班



<http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/>

主任研究者 山縣 然太郎

## 目次

I. セレクト2006について	
II. 事業課題別の取り組み	
「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」	1
「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」	23
「小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備」	45
「子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減」	53
「健康日本21に含まれる母子保健に関するテーマ」	95
III. 「健やか親子21」公式ホームページ 取り組みのデータベースの使い方	
IV. 評価メンバー	
都道府県別・事業索引	

